

## 三重県内の治安情勢（令和元年中）

### 1 「刑法犯」の認知・検挙状況

認知件数は前年に比べ925件（8.2%）減少した。

	認知件数	検挙件数	検挙人員	検挙率
令和元年	10,322	3,829	1,938	37.1%
平成30年	11,247	4,964	2,210	44.1%
増減数	-925	-1,135	-272	
増減率	-8.2%	-22.9%	-12.3%	-7.0P

### 2 「重要犯罪」の認知・検挙状況

前年に比べ認知件数は21件減少、検挙率は8.1ポイント上昇した。

	総数	殺人	強盗	放火	強制性交等	略取・誘拐	強制わいせつ	
令和元年	認知件数	77	6	16	6	14	0	35
	検挙件数	73	8	15	6	11	0	33
	検挙人員	70	7	22	6	10	0	25
	検挙率	94.8%	133.3%	93.8%	100.0%	78.6%	0.0%	94.3%
平成30年	認知件数	98	6	17	12	17	6	40
	検挙件数	85	4	11	11	24	6	29
	検挙人員	61	6	12	7	10	5	21
	検挙率	86.7%	66.7%	64.7%	91.7%	141.2%	100.0%	72.5%
検挙率の増減	8.1P	66.6P	29.1P	8.3P	-62.6P	-100.0P	21.8P	

### 3 「重要窃盗犯」の認知・検挙状況

前年に比べ認知件数は71件増加、検挙率は10.4ポイント低下した。

	総数	侵入盗	自動車盗	ひったくり	すり	
令和元年	認知件数	1,268	1,130	125	11	2
	検挙件数	924	866	55	2	1
	検挙人員	104	81	21	2	0
	検挙率	72.9%	76.6%	44.0%	18.2%	50.0%
平成30年	認知件数	1,197	1,056	123	7	11
	検挙件数	997	847	138	0	12
	検挙人員	85	61	20	0	4
	検挙率	83.3%	80.2%	112.2%	0.0%	109.1%
検挙率の増減	-10.4P	-3.6P	-68.2P	18.2P	-59.1P	

### 4 「重点犯罪」の認知状況

前年に比べ認知件数の総数は減少したが、自動車盗と自転車盗は増加した。

	総数	空き巣	忍込み	自動車盗	車ねらい	上部ねらい	部品ねらい	自転車盗	特殊詐欺
令和元年	3,557	350	149	125	516	257	2,081	79	
平成30年	3,899	392	177	123	606	449	2,045	107	
増減数	-342	-42	-28	2	-90	-192	36	-28	
増減率	-8.8%	-10.7%	-15.8%	1.6%	-14.9%	-42.8%	1.8%	-26.2%	

### 5 「特殊詐欺」の発生状況

前年に比べ件数は28件、被害額は約2億7,110万円減少した。

		振り込み詐欺	振り込み詐欺以外	合計
令和元年	件数	78件	1件	79件
	被害額	約1億1,790万円	約50万円	約1億1,840万円
平成30年	件数	106件	1件	107件
	被害額	約3億8,460万円	約500万円	約3億8,960万円
増減	件数	-28件	±0件	-28件
	被害額	一約2億6,660万円	一約450万円	一約2億7,110万円

6 「暴力団・薬物事犯」の検挙状況

暴力団検挙人員は前年に比べ52人（27.7%）減少した。

薬物事犯検挙人員は前年に比べ3人（2.7%）増加した。

	暴力団検挙人員			薬物事犯検挙人員			
		刑法犯	特別法犯		覚醒剤	大麻	その他薬物
令和元年	136	99	37	115	85	30	0
平成30年	188	149	39	112	84	28	0
増減数	-52	-50	-2	3	1	2	0
増減率	-27.7%	-33.6%	-5.1%	2.7%	1.2%	7.1%	-

7 「来日外国人犯罪」の検挙状況

検挙件数は前年に比べ46件（27.7%）増加した。

	総数		刑法犯		特別法犯	
	検挙件数	検挙人員	検挙件数	検挙人員	検挙件数	検挙人員
令和元年	212	120	146	68	66	52
平成30年	166	120	92	67	74	53
増減数	46	0	54	1	-8	-1
増減率	27.7%	0.0%	58.7%	1.5%	-10.8%	-1.9%

8 「不法滞在者」の検挙・摘発状況

検挙・摘発人員は前年に比べ20人（22.5%）増加した。

	検挙・摘発人員	
		うち 合同摘発
令和元年	109	61
平成30年	89	52
増減数	20	9
増減率	22.5%	17.3%

※ 「不法滞在者」には、不法残留、不法在留のほか、資格外活動で検挙・摘発した外国人を含む。

9 「非行少年等」の検挙・補導状況

(1) 非行少年

非行少年は前年に比べ40人（12.9%）減少した。

	総数	刑法犯少年	特別法犯少年	〈犯少年
令和元年	271	237	33	1
平成30年	311	272	37	2
増減数	-40	-35	-4	-1
増減率	-12.9%	-12.9%	-10.8%	-50.0%

※ 非行少年とは、犯罪又は触法行為若しくは〈犯行為により検挙又は補導された少年をいう。

(2) 不良行為少年

不良行為少年は前年に比べ349人（14.9%）減少した。

	総数
令和元年	2,001
平成30年	2,350
増減数	-349
増減率	-14.9%

※ 不良行為少年とは、喫煙、飲酒、深夜はいかい等により補導された少年をいう。

10 「交通事故」の発生状況

人身事故件数、死者数、負傷者数とも前年に比べ減少した。

	人身事故 件数	死者数	負傷者数		
			重傷	軽傷	
令和元年	3,647	75	4,688	580	4,108
平成30年	4,687	87	6,136	721	5,415
増減数	-1,040	-12	-1,448	-141	-1,307
増減率	-22.2%	-13.8%	-23.6%	-19.6%	-24.1%